

陽だまり 丹波 めぐり

人もココロも
あったかい

Heartwarming
Slow Life in TAMBA

丹波市
観光アンバサダー

俳優 新木宏典

Hirofumi Araki



ホ
シ
と
癒
や
さ
れ
る
至
福
の
時
間

ようこそ丹波市へ!



丹(まごころ)の里
丹波市

自然を近くに 感じる幸せ

優しい出会いと新たな発見に
心満たされて――



丹波市はこんなところ

兵庫県の東部に位置し京都と隣接。付近を山々に囲まれた地域で、豊かな水と肥沃な土地が生んだ、丹波栗や丹波大納言小豆など、全国に誇れる作物が多数ある。

四季折々の景色も魅力の丹波。「季節がはっきりしていて、シーズンによって楽しみ方が異なり、見られる景色も変わります」（新木）



おはぎ作りを体験した新木。「家の手伝いをしているような感じで、一緒に作ってくれたおはぎちゃんが褒めてくれました（笑）」

Hirofumi Araki

1983年6月14日生まれ。兵庫県丹波市出身。双子座。O型。近年の主な出演作は、ミュージカル『刀剣乱舞』シリーズ（にっかり青江 役）、『ヒプノシスマイクー Division Rap Battleー』Rule the Stageシリーズ（伊勢丹 一二三 役）、舞台『歌舞伎町シャーロック』（シャーロック・ホームズ 役）、『ヒストリーボーイズ』（アーウィン 役）など。令和6年5月に丹波市観光アンバサダー就任。

丹波市出身で、数多くの舞台や映像作品に出演し第一線で活躍し続ける俳優・新木宏典。2023年に40歳となったのを機に、これまで活動していた本名の荒木宏文から改名し、俳優として新たなスタートを切った。また、40歳の節目を迎えた記念として地元・丹波を紹介したガイドブックを出版。丹波のさまざまなスポットを巡り、古き良き部分と若い世代の新たな発想が交差する町で、地元の魅力を再発見できたという。そんな新木に丹波の印象を聞くと、「丹波の人って、サービス精神がとて強いんです。ボランティア活動に来た方が『丹波の人たちは食事も宿も丁寧にアテンドしてくれるので、観光に来たかのようなおもてなしを受ける』と。僕も地元の人間ではあるけれど、撮影や取材でお会いした人たちは、皆さん初対面です。それでも話しているうちに自然と距離が縮まるぐらい、人懐っこくて優しい人ばかり。僕は丹波を訪れる人に『うち何もないから』とよく言うんですけど、何もないからこそ、人と人との交流がある、人付き合いを大切にしているんです」と。これから丹波に来てくれる人たちに向けても「訪れる先々で交流があると思うし、1カ所行けば、次の目的地も案内してくれるくらい（笑）おもてなし精神に溢れていますよ」と、「丹波らしさ」を嬉しそうに語った。



丹波竜の全身骨格は
迫力満点！

1971年にあまごの養殖を始め、この土地の良さを知ってもらいたいと食事処を開業。丹精込めて作られたあまごは刺身や塩焼き、唐揚げなど様々な調理方法で、コース料理として頂くことが可能。食事処のそばには大きな池があり、あまごのつかみ取りとニジマス釣りが体験できる。新木は、小学生の時に鮎のつかみ取りなどをよくやっていたことを振り返り、「いい思い出です」と。

あまご村

〒669-3822 兵庫県丹波市青垣町大名草 898
0795-87-5556
平日 11時30分～15時（L.O.14時）
土日祝 11時30分～16時（L.O.15時）
つかみ取り・釣り 10時～
水、木曜日（祝日の場合は営業）、年末年始
つかみ取り・釣り共に入場料 100円
（両方場合は合わせて 100円）※変更の場合あり



丹波のきれいな水の恵み
あまごのつかみ取り&ニジマス釣り

新木宏典が家族と過ごした思い出の場所も…！

丹波はファミリーで楽しめるスポットが充実！！

丹波には、豊かな自然に触れられる場所や楽しく学べる施設、そして地元の方と交流できる体験など、大人から子どもまで、親子・家族で満喫できるスポットがたくさんあります。そして家族旅行の思い出に、地元の特産品を堪能できるちょっと贅沢なお食事はいかが？



贅沢に味わう
最上級の神戸高見牛

丹波市にある高見牧場直営の同店では、全国和牛能力共進会で内閣総理大臣賞の受賞歴もある最上級の神戸高見牛が味わえる。新木は特別な日に家族と来たりアルバイトをしていたことも！客席数が多くアラカルトメニューも豊富。

グルメシアター 市島店

〒669-4322 兵庫県丹波市市島町上田 46
0795-85-2612
平日 11時～14時30分（L.O.14時）
17時～21時（L.O.20時）、土日祝は通し営業
木曜日、第2水曜日
昼 3,000円 / 夜 5,000円



栗、黒豆、大納言小豆…
丹波の名産でお菓子作り体験

栗、黒豆、大納言小豆といった名産を使った食事が頂けるほか、お菓子作りも体験できる。おはぎ作りに挑戦した新木は、栗あん、きな粉、あんこ…3種それぞれの食材の優しい甘さを大絶賛！



ゆめの樹

〒669-4124 兵庫県丹波市春日町野上野 1026-3 0795-74-3030
食事 / 11時～15時（L.O.14時30分）体験 / 9時～13時の間
木曜日（祝日の場合は営業）※おはぎ体験は木、土曜日不可
※体験は3名～/団体10名以上は希望の日時で応相談
※その他、予約ができない日もあります。予めご了承ください。
体験コースによって金額は異なります

至福の夢時間

一度は味わってみたい人気店の逸品

丹波の特産&グルメ

名産の栗、豆などを使った丹波ならではのグルメはもちろん
若いオーナーが開業したオシャレなお店にも注目！

Gourmet



丹波大納言小豆を堪能
守りつなぐ伝統の幻の小豆

昔からこの地で作られてきた小豆の伝統を守り、つないできた夫婦が営む栽培・加工・販売所。最高級ブランドの丹波大納言小豆と旬の野菜をたっぷり使用した「あずき工房御前」は来店3日前までに要予約。

あずき工房 やなぎた

〒669-4272 兵庫県丹波市春日町東中1425 ☎0795-75-1249
●10時～16時(ランチは3日前までに要予約) ●火曜日～金曜日
●2,200円



丹波の名産を使った
絶品スイーツに感動！

「ゆめの樹」(P3 参照)の向かいにあり、丹波栗をはじめとする地元の特産品を使った和洋菓子を販売。カフェスペースでは店内で作られたスイーツをゆっくり味わうことができる。「季節のボックスシリーズ」が人気で、春に訪れた新木は、「丹波(だいなごん)の苺ボックスケーキ」を特別に試食。いちごとあんこの融合に感動していた。

夢の里やながわ 本店

〒669-4124 兵庫県丹波市春日町野上野920
☎0795-74-0123
●10時～18時(カフェのL.O.は17時)
※12月～翌2月末に限り10時～17時30分
(カフェのL.O.は16時30分)
●水曜日(祝日は営業)、元旦 ●2,000円～3,000円



「FOREST DOOR-旧神楽小学校-」内に2023年7月にオープンした、廃校を改装したレストラン。ヘルシーな「一汁六菜膳」や、旬の食材を使った「季節の釜めし膳」など、地域食材を活かしたメニューが味わえる。(P4 参照)

廃校レストラン「ふむふむ」

〒669-3826 兵庫県丹波市青垣町文室244(旧神楽小学校内)
☎0795-87-5511 ●ランチ11時～15時(L.O.14時)、
カフェ15時～17時(L.O.16時30分) ●水曜日、木曜日
●メインが選べる一汁六菜「ふむふむ膳」1,800円～、
季節の釜めし膳2,300円～

贅沢すぎる一皿
丹波栗のしぼりたて
モンブラン

丹波の名産である丹波栗や黒豆を使ったスイーツで広く愛されている中島大祥堂。丹波市に自社農園を持ち、栗の栽培・収穫をしている。カフェで特に人気なのが、丹波栗のしぼりたてモンブラン。大人の男性の拳ほどある大きさと、4Lサイズの丹波栗が添えられた魅惑の一皿。

中島大祥堂 丹波本店

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原448 ☎0795-73-0160
●平日 カフェ11時～17時(L.O.16時30分) 土日祝 カフェ11時～17時30分(L.O.17時)
●年末年始・夏季休業 ●2,000円



極上の一杯、憩いのスポット

水分れ公園のすぐ隣、いそべ神社境内に2020年に誕生。空き家だった場所を地域の人々と改修し、現在の和モダンな茶屋に生まれ変わらせた。中でも地元産の牛乳を100%使用したカフェラテが人気。訪れる人の喉と心を潤す一杯がここにある。

水分れ茶屋 by Amhara Coffee Stand.

〒669-3464 兵庫県丹波市水上町石生526
●土日祝10時～16時30分
●月曜日～金曜日 ●500円～

築150年の歴史ある旧武家屋敷が目印の蕎麦店「和さび」。看板のそばは産地にこだわり、全国から状態の良いそば粉を仕入れている。旬の食材を使った9種の前菜と鯖寿司、そばがセットになったランチコースが大人気で、コース目当てに通うお客さんも多数！

蕎麦と料理 和さび

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原574-2
☎0795-72-0028
●ランチ11時～14時30分/
ディナーは予約のみ
●火曜日
●花ランチ2,200円、竹ランチ2,970円



産地こだわりの蕎麦 彩り豊かなコース料理で



そばは最初に塩のみで食べるのがおすすめ。みずみずしい食感と口いっぱいに広がるそばの香り。味もボリュームも大満足！

丹波に魅せられて開業
SNS映えの絶品バーガー



ハンバーガー大好きな夫婦が、丹波の自然や人の良さに惹かれて2022年に開いた本格派のグルメバーガー店。中でもコラボークチーズバーガーは絶品！オーナー夫婦のセンスが光る店内でゆっくり味わいたい。

FLOPPY BURGER HOUSE

〒669-3641 兵庫県丹波市水上町網山624-2
☎0795-78-9666
●11時～16時※売切次第終了
●水曜日、木曜日※Instagramの営業カレンダーを要確認
●1,100円～

丹波栗を食べて育った
丹波栗きん豚のうま味たっぷり



「丹波栗きん豚」とは丹波栗のB級品を食べて育ったブランド豚。うま味成分が高く、臭みがなくて柔らかい高級豚だ。この豚肉の美味しさを知ってもらいたいと、豚まんの製造を開始。新木も出来立てをベロリ！

栗きん豚吉吉

〒669-4122 兵庫県丹波市春日町小多利71-2
☎090-4649-1094
●11時～17時 ●日曜日、月曜日
●1個270円



天然温泉
丹波市で唯一の

国領は「山之神湯」という湯が湧き出ること知られ、湯治場として大正初期は十数軒の温泉宿があった。「国領温泉 助七」はその名残を今に伝える歴史ある宿だ。自然豊かな景色を眺めながらの露天風呂で心も体も癒やされ、豪華料理で満たされる至福の時間。季節の会席料理、但馬牛すき焼き、但馬牛しゃぶしゃぶから選べる食事はどれも大満足。

国領温泉 助七

〒669-4273 兵庫県丹波市春日町国領206
☎0795-75-0010
●日帰り入浴12時～19時
●日帰り入浴料大人700円、
温泉付き食事プラン6,325円～、
宿泊プラン(1泊2食付)19,800円～



鹿肉専門店の
宿泊施設

鹿肉専門店で、1日2組限定の宿泊施設がオープンしたのは2018年。古民家を改装した店内は、レトロで心落ち着く造りだ。こだわり抜かれた鹿肉料理を味わった余韻をそのままに宿泊できるのが魅力。

無鹿リゾート

〒669-4252 兵庫県丹波市春日町下三井庄1017-1
☎0795-88-5252 ●水曜、木曜日
●2名22,000円～(夕朝食込)
※金土祝前日及びゴールデンウィークは10%追加の特別料金

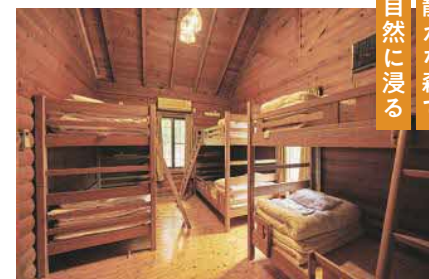


喧噪を忘れる
純和風旅館

雲海で有名な黒井城跡近くにあり、どこか懐かしさを感じる日本の純和風旅館。但馬牛・黒毛和牛を使ったすき焼き鍋や丹波名物のぼたん鍋など、料理は鍋物で田舎ならではの山里の食材が存分に味わえる。

丹波の宿 恵泉

〒669-4133 兵庫県丹波市春日町平松400-1
☎0795-74-1873 ●不定休
●1名11,500円～(1泊夕食付)



静かな森で
自然に浸る

静かな森の中にあるコテージ、キャンプ場、レストランから成る「丹波悠遊の森」はファミリー層に人気の施設。大きい部屋は3世代の旅行にもおすすめ。寒い季節に焚火を囲んで星空観察をするのも◎

丹波悠遊の森

〒669-3315 兵庫県丹波市柏原町大新屋1153-2
☎0795-72-3285
●火曜日、年末年始
●オート常設テント(4名様まで)6,500円～

老舗蔵元の丹精こめた酒造り

創業1716年の「山名酒造」は、地元で長く愛されてきた蔵元。蔵人は古来より受け継がれた製法を踏襲しながらの酒造りに邁進。100%兵庫県産の酒造好適米を使って醸された定番の「奥丹波」ほか、季節の清酒も注目されている。



山名酒造

〒669-4322 兵庫県丹波市市島町上田211
☎0795-85-0015
●9時～17時
●1月1日、2日



特産品と土産が揃う
丹波の玄関口

農家の方が丹精込めて育てた野菜や、地元の銘菓などが並ぶ、丹波の道の駅。新木は丹波に帰省して東京に戻る前に、ここでよくお土産を買って行くそう。種類が多く、迷うのも楽しいひと時。

道の駅 丹波おばあちゃんの里

〒669-4131 兵庫県丹波市春日町七日市710
☎0795-70-3001 ●9時～17時
●1月1日休館※冬季にメンテナンス休館あり

至福の夢時間

地元愛あふれる名店との出会い

丹波でお買い物

伝統をつないできた名産が手に入るお店、一期一会を感じる
ショッピングなど、丹波の良いところをお持ち帰り！

Shopping



長く愛用したくなる
逸品揃い

雑貨類を愛するオーナーがセレクトした服やアクセサリ、小物類に食器など、日常生活をオシャレに楽しめるものばかり。丹波で咲いた花がディスプレイされた店内で、洗練された雑貨に心がときめく。

セレクトショップ三光堂

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原16 2F
☎0795-71-1145 ●11時～18時
●火曜日、水曜日



カナダから移住した
夫婦のジュエリー店

カナダで経験を積んだ夫婦が柏原に移住。自然豊かで歴史があり、静かな街並みが気に入ったという。素材と製法にこだわり抜いて作られた一生物のジュエリーを丹波で見つけてみては？

ビエール・エ・オクstatt

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原28-1
☎0795-71-6454 ●10時～18時
●日曜日、月曜日 ●※見学は無料

何度でも丹波市へ

丹波市観光アンバサダー・新木宏典 Special Message

僕が丹波で一番好きなのところ

丹波市の魅力はいろいろありますが、気候もその一つですね。僕はここ快適な空気が大好きなんです。湿度が高くてちょうどいい。雨が降ってもジトジトしたり、肌ベタベタしたりする感じがありません。拭いたらサッパリする。カラッとしていて濡れてもすぐ乾くんですよ。そういえば子供の頃、水遊びをしてもいつの間にか乾いてたなんて思い出して、それが今も変わってないなと感じて嬉しくなります。

夏は日差しが強く体力が奪われますが、夕方、陽が落ちてからの風が気持ちいいんです。子供と同じで、日中よく遊んだあと、夕飯前にいつの間にか寝てしまう(笑)。そのくらい、気持ちのいいところなんです。もちろん、暑さ寒さの厳しさはありますが、一年中ずっと気持ちよくて、それを肌で感じられること、四季を実感できることが、丹波の一番好きなのところですね。

丹波市にお越しの皆様へ

丹波市に来ていただいた皆さんが、何をしようかって迷って、このパンフレットを見たら、行ってみたいお店や名所がたくさんあると思うんです。でも、何も考えずにただ散歩するだけでも気持ちのいいところなので、きっとそれだけでリフレッシュできると思います。いろいろなスポットを回らなきゃと焦ると、観光も大変かもしれないですが、「今回はここに行ってみよう」と1カ所だけでも僕はいいと思います。一度に全部回らなくても、ただ来るだけで息抜きするにはいい場所ですから、また丹波市に来ようと思っていただけたら嬉しいです。そして次に来たときはここに行ってみよう、この案内をチェックしてもらって、ずっと持っていていただけたら。丹波市は癒やしの場には最適なのところだと思うので、是非くつろいでいただきたい。何度でも丹波市にお越しください。

丹波の気持ちいい風に癒やされてくつろいでください

📷 ここで撮影しました！

明治時代の歴史を感じる洋館で 観光アンバサダーとして新たな決意を胸に

観光アンバサダー任命式が行われた「たんば黎明館」は、国家を担う人材を育成するという先人たちの志から、明治18年(1885)氷上第一高等小学校として設立されたのが始まり。その建築様式は、専門家からの評価も高く、兵庫県有形文化財に指定されています。



たんば黎明館

(兵庫県有形文化財指定)
(旧氷上高等学校校舎)

〒669-3309
兵庫県丹波市柏原町
柏原 688-3
0795-73-3800
9時～17時 水曜日



Access

丹波市への行き方

🚶 電車で

【大阪から】JR特急電車利用で約70分
【神戸から】JR特急電車利用で約120分

🚌 バスで

【大阪から】春日ICまたは水上IC高速バス利用で約80分
【神戸から】春日ICまたは水上IC高速バス利用で約60分

🚗 車で

【大阪から】
舞鶴若狹自動車道・
国道176号線経由で約80分
【神戸から】
舞鶴若狹自動車道で春日ICまで約60分、
または中国自動車道・
国道175号線経由で約60分



特急で “丹波の玄関口” JR柏原(かいばら)駅へ

市内で主要な駅はJR柏原駅で、新大阪駅から出る特急「このと」が全列車停車するため、丹波の玄関口となっている。所要時間が大阪駅から柏原駅まで約70分と、1時間ちょっとで行けるのも魅力的。また、丹波市内では車移動がオススメ。縦横無尽に市内を巡りたいときは、予めレンタカーの手配や事前にお問い合わせを。

Information



SATURDAY
TAMBA

丹波市観光課公式サイト『SATURDAY TAMBA』では、丹波市の観光情報を随時更新中! 美味しい食べ物、美しい景色など土曜日は丹波市に遊びに来たくなるような情報が満載です!



お出かけ前に
最新情報をチェック

【本誌掲載の記事・写真の無断転載を禁じます】

ご注意: ●この冊子の内容は2024年10月現在の情報です。●店舗情報・商品内容・料金・各施設の休業日・営業時間などは予告なしに変更される場合がありますので、ご利用の際には予めご確認ください。

撮影: MARCO、吉田一之、尾崎篤

【発行・お問い合わせ】

丹波市 産業経済部 観光課